

令和4年10月16日
今週のベストショット



青松園A 和白新町パイレーツ 対 奈多フェニックス

五回表、本日3安打2HR8打点。満塁アーチを放った和白新町パイレーツ四番の今泉選手。

写真：三苦ホーネッツ 只松 輝大

青松園B 鮎川投手の見事完封で三苦三球会が勝利！！

三苦三球会 (7勝2敗1分) 03106 10 鮎川○—藤沢(隆)

三苦フレンズ(2勝6敗1分) 00000 0 生野(拓) ●—生野(猛)

HR：大津、鮎川(三球会) 2BH：濱口、大津、藤澤(三球会)

初回、両チーム先発投手の立ち上がりが高く三者凡退。投手戦になると思われたが、二回表三苦三球会は、大津選手の二塁打を始め3本の安打で3点を先制する。二回裏三苦フレンズは、一死から御手洗選手がヒットを放ちチャンスを作るも得点には繋がらず……。三回表、三球会大津選手による四番の一振りで三球会が追加点を獲得。三回裏反撃したいフレンズだが、好調の三球会鮎川投手の前に三者三振。四回表、追加点を狙う三球会だが、フレンズ吉村選手の好守備もあり三者凡退となる。四回裏、この回を打者三人で抑えたフレンズは勢いに乗りたいが鮎川投手のライズボールに苦戦…。五回表三球会は、HRを含む5本の長短打でビッグイニングとなる。五回裏10点差をつけられこの回1点でも欲しいフレンズは、御手洗選手が無死から出塁するも、鮎川投手の好投に力及ばず、コールドゲームにて決

着。三球会鮎川投手は五回被安打1、10奪三振、四死球0で零封に抑えれば、四番大津選手は3打数3安打1HRの活躍を見せた。(記事・写真：ソルトベ이스ターズ 坂井)



三苦三球会先発の鮎川投手。



三苦フレンズは生野親子バッテリー。



二回裏、ライト前ヒットを放つフレンズ御手洗選手。



三回表、HRを放った三球会大津選手ホームイン。



準優勝を決めた三球会塚監督と今日のヒーロー三球会鮎川投手。

青松園A 最終回パイレーツの猛攻！！

和白新町パイレーツ（4勝5敗）10316 11 川原、岩吉○—大濱
奈多フェニックス（5勝4敗）30010 4 今林（勇）●—実延

HR:今泉2（新町パ）3BH:本堂（新町パ）

2BH:今泉、今村、本堂（新町パ）山本、能丸（奈多フ）

一回表の和白新町パイレーツの攻撃は、二死から三番白岩選手が四球で出塁するすると、つづく四番今泉選手のセンター頭上を超える二塁打とWPによって先制。その裏の奈多フェニックスは、打者一巡の攻撃を見せ3点を奪い逆転。しかし三回表パイレーツは、先頭の今村選手が二塁打で出塁すると、続く三番白岩選手がレフト前ヒットを放ち無死一三塁のチャンスを作ると、四番今泉選手がライト頭上を超える3ランHRを放ち再逆転に成功。四回は両チーム1点を取り合い5-4の1点差のまま五回表を迎えると、一死からパイレーツ怒涛の攻撃が炸裂。朝野選手が振り逃げで出塁すると、八番本堂選手が三塁打を放ち1点追加。さらに途中出場の岩吉選手がタイムリーヒットを放ちチャンスをつなげ、二死満塁で四番今泉選手まで回す。絶好調の今泉選手はとどめの満塁HRをレフトに放ち、この回計6点を挙げる！その裏逆転したい奈多フェニックスだったが、パイレーツ二番手岩吉投手に三者凡退に抑えられ試合終了。この試合2HR8打点の今泉選手の活躍もあって、パイレーツの勝利となった。

（記事・写真：三苦ホーネッツ 只松 輝大）



和白新町パイレーツ先発の川原選手。



奈多フェニックス先発の今林（勇）選手。



本塁打を放つパイレーツ四番の今泉選手。



満塁本塁打で帰還した今泉選手。



帰還するフェニックス能丸選手。



ベンチで人一倍声を出していた小林選手（左）と大活躍の今泉選手。